

※裏面の記載は不要です。

## 記 入 上 の 注 意

この給付認定申請書は、保護者が次の点に注意し記入のうえ剣淵町役場（施設を経由して提出する場合は、入所を申し込んだ施設）に提出して下さい。なお、その家庭から2人以上の児童が同時に申請を行う場合は、それぞれの児童ごとに1枚の用紙を用いて下さい。

- 1 「申請児童」の欄は「氏名」にふりがなを付し、「性別」の欄は該当するものを○で囲んで下さい。  
「保護者住所・連絡先」欄については、自宅・父・母の連絡先を全て記入して下さい。  
「利用を希望する期間」の欄は、小学校就学始期に達するまでのうち、施設の利用を希望する期間を記入して下さい。  
「利用を希望する施設（事業者）名」の欄は、剣淵町保育所以外の施設の利用を希望する場合のみ記入して下さい。
- 2 ①「世帯の状況」の欄は、申請児童本人以外の申請児童の両親及び同居している親族等の全員について記入し、「性別」及び「同・別居」欄は該当するものを○で囲んで下さい。  
「家庭の状況」の欄で該当するものにチェック（☑）して下さい。
- 3 ②「保育の利用を必要とする理由等」の欄は、①「保育の希望の有無」の欄で「有」を○で囲んだ場合に記入して下さい。（「無」を○で囲んだ場合は記入の必要はありません。）  
保育の認定基準は、次の表に掲げるような場合です。

### 保育の認定基準

保育の必要性の認定を受ける場合は、両親いずれも（両親と別居している場合には児童の面倒を見ている者）が次のいずれかの事情にある場合です。

- (1) 就労等…1月当たりの就労時間が48時間以上である場合
- (2) 妊娠・出産…児童の保護者が出産の前後のため、その児童の保育ができない場合
- (3) 疾病・障害…児童の保護者が病気、負傷、心身に障害があり、その児童の保育ができない場合
- (4) 介護等…児童の家庭に介護が必要な高齢者や、長期にわたる病人、心身に障害のある人、小児慢性疾患に伴う看護が必要な兄弟・姉妹がおり、保護者がいつもその同居又は長期入院・入所している親族の介護・看護にあっているため、その児童の保育ができない場合
- (5) 災害復旧…火災、風水害、震災などの不幸があり、家屋を失ったり、破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合
- (6) 求職活動…児童の保護者が求職活動（起業準備を含む）を行っているため、その児童の保育ができない場合
- (7) 就学…児童の保護者が就学（職業訓練校等における職業訓練を含む）のため、その児童の保育ができない場合
- (8) 虐待・DV…虐待・DVのおそれがある場合
- (9) 育児休業…育児休業取得時に、既に保育施設を利用している児童がいて継続利用が必要である場合

②「保育の利用を必要とする理由」の欄は、①「世帯の状況」の欄に記入した児童の世帯員のうち、両親及び同居している両親以外の同居している親族等ごとに、児童を保育できない理由を上記の表(1)～(9)のいずれの掲げる場合に該当するかを判断して、該当する全ての口にチェック（☑）して下さい。なお、(1)～(9)の場合以外で児童を保育できない理由がある場合（就学や親のいない家庭など）は「その他」にチェック（☑）し、内容を（ ）内に記入して下さい。また、下記のとおり関係する添付書類を提出してください。

＜添付書類＞

- 就労の場合～就労証明書（父親、母親ともに必要）
- 出産、または、育児休業中等の場合～母子手帳のコピー等
- 疾病等、病人の看護等の場合～病院の診断書、身障手帳のコピー等
- 求職活動の場合～求職活動証明書のコピー等
- 就学の場合～在学証明書のコピー等
- その他該当する書類

#### （留意事項）

- ◎給付認定（保育の必要性の認定）及び施設（事業者）への入所については、
- ・保育の実施基準に該当しないため、希望する認定が受けられない場合
  - ・希望者が多数いるため希望する施設に入所できない場合
  - ・保育の実施基準の該当事由により利用期間の希望に添えない場合
- } がありますので、あらかじめご承知下さい。

◎申請書に記載の全員分の個人番号を確認できる書類（通知カード等）と提出される方の本人確認書類（運転免許証等）を申請時に提示して下さい。

※町記載欄	認定の可否	可・否（理由： 年 月 日認定	給付（利用） の可否	可・否（理由： □施設型 □地域型
	認定番号		給付（利用） 期間	自 年 月 日 至 年 月 日
	認定区分等	□1号 □2号 □3号 (□標準 □短)	利用施設名	